

第54回功労者・永年勤続者表彰式

11月27日(火)、石川県地場産業振興センターにおいて「第54回功労者・永年勤続者表彰式」を開催し、受賞された功労者表彰8名、勤続30年表彰56名、勤続20年表彰67名、勤続10年表彰174名の計305名の方々に表彰状と記念品が授与されました。

菱沼会長は式辞の中で「国内景気は好調を維持している一方で、人材不足が深刻となっています。現場の姿がどのように変化しようと、私たちものづくり業界では、現場が人を育てます。今ここに受賞される方々には改めて「技術の伝承」をお願いするとともに、世界に負けない、新しい現場づくりをお願いしたいと思います。」と感謝と励ましの言葉を述べられました。

また、谷本知事は挨拶の中で「本県が高度なものづくり技術を有する企業の集積地として全国的に高い評価を受けているのも、皆様方が大きな熱意を持ち、実直に仕事に励んでこられた賜であり、改めて心から敬意を表します。」と励ましのお言葉をいただきました。なお、来賓を代表して作野県議会議長、金沢市長代理の細田副市長からご祝辞をいただきました。終わりに受賞者を代表して中村留精密工業(株)の高松 司さんが「モノづくり業界のより一層の繁栄と石川県の振興・発展に貢献できるよう全力を尽くしたい」と謝辞を述べられました。



なお、表彰式に先立ち記念講演会を行い、健康運動指導士元橋美津子氏より「生涯現役！～今から繋ぐ健康な身体と健康経営！～」と題してご講演いただき、実際に全員で体を動かして「ふくらはぎ」を鍛えるなど、日頃の小さな積み重ねが心身共に健康な身体をつくり、元気な職場づくりにつながることを学びました。

青年部会だより

11月16日(金)に富山県機電工業会青年部会、福井県機械工業青年会、京都機械金属中小企業青年連絡会との4府県合同研修会を64名が参加して石川県で開催しました。

見学させていただいた津田駒工業(株)では、石川県鉄工機電協会の会長でもある菱沼捷二会長より「人材不足」、「競合他社ではなく協働他社」といったご講演をいただき、中村留精密工業(株)では、「工場のIoT化を先駆けて取り組んでいる」との説明を受けました。その後、会場を移し懇親会を開催し、県府の垣根を越えて有意義な情報交換を行いました。

また、10月1日(月)にホテル金沢で27名が参加して研修会を行い、石川県商工労働部労働企画課長 渡辺 駿氏より「外国人労働者の現状について」と題して講演していただいた後、「企業間連携による一貫体制の構築」事業で進めてきた「金箔裁断機の開発」の成果発表を行いました。



モノづくり人材育成対策事業

★工業系高校教員&モノづくり企業との懇談会

開催日：平成30年12月5日(水)

会場：小松市民センター

参加者：モノづくり企業46名、高校22名（校長6名、教頭2名、教員14名）

平成7年より実施している石川県内の工業系高校教員とモノづくり企業との懇談会を開催しました。はじめに石川県教育委員会より「石川県の工業高校の進路・就職内定状況について」報告があり、その後3班に分かれ「求められる学習内容と人材像について」などのテーマで意見交換を行いました。

意見交換では、企業側からは「技能検定などの資格は入社後でも勉強できるが、目標を持ち努力することの大切さや協調性・様々な年齢層でもコミュニケーションを図ることができる、などの人間力を磨いてほしい」との意見があり、学校側からは「工業高校へ入学する生徒の大半は高校卒業後地元企業に就職する生徒が多い。ただ就職先については親の意見が反映されることがあるため学校に足を運ぶ機会を作ってもらいたい」などの話がありました。

懇談会に先立ち、午前中には教員の皆さんが(株)小松電業所の工場見学を実施しました。

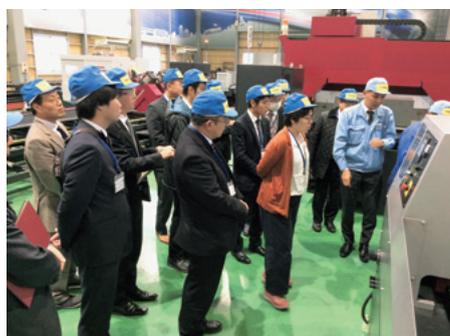
当協会のDI調査での企業経営上の悩みでは、人材不足が8期連続して1位となっており、多くの会員の方々に関心をもってご参加いただきました。今後もこのような活動を通して人材の確保に繋がりたいと考えております。なお、詳しい内容については協会ホームページで情報発信しています。



★高校教員工場見学会

石川県教育委員会との共催で、工業系の高校に限らず普通科・総合学科など全ての県内高校の進路指導教員に地元のモノづくり企業を周知することを目的に工場見学会を3地区で開催しました。

工場を見学した教員から「今までイメージしていた工場とはかなり違っていた」、「人材育成の観点から企業の方に直接お伺いする良い機会になった」などの感想が寄せられました。



月 日	地区/人数	見 学 先
11月30日(金)	金沢/30名	明和工業(株)
12月3日(月)	加賀/16名	(株)鈴木鉄工、タケダ機械(株)
12月4日(火)	能登/22名	(株)PFU ProDeSセンター

★中学生出張講話

開催日：平成30年12月3日(月)

場 所：白山市立松任中学校

講 師：(株)北都鉄工生産本部技術部 桑山友梨氏

中学1年生を対象とした職業講話に、学校側からの希望により今年度も(株)北都鉄工の桑山さんに「橋の種類についての説明と女性でも設計ができるという仕事に対する達成感について」講話していただきました。



経営技術指導委員会視察会（滋賀県・京都府）

開催日：平成30年10月10日(水)～11日(木)

視察先：高橋金属(株)、(株)カシフジ、オムロン京都太陽(株)

参加者：17名

下請部品（金属機械）加工からスタートした高橋金属(株)は、金属塑性加工技術力を基盤にオリジナル製品「産業用電解イオン水洗浄機」を開発。

約2000社に納品し、現在は中国・タイにも展開しています。人材育成に関してはスキルアップや事故防止のため、本社建屋内に「ものづくり道場」を設置し全従業員に体験させています。

ホブ盤（歯切り盤）製造に特化し国内シェアNo1を誇る(株)カシフジは、創業105年を迎え、現在は自動車産業での需要が多いが、今後は新しいマーケットとしてロボット関係のニーズを期待しているとのことでした。

オムロン京都太陽(株)は、障がい者の雇用就労の機会をつくるためオムロンと社会福祉法人太陽の家が共同出資し1972年に設立、約1500種の部品の組み立てを行っています。工場内は、知的障がい者もわかりやすく仕事ができるような様々な工夫がされており、障がい者雇用が課題となっている現在、工夫をすれば一般企業でも障がい者が担える業務が多々あると感じました。



環境委員会視察会（岩手県久慈市）

開催日：平成30年10月17日(水)～19日(金)

視察先：久慈市バイオマス発電所、久慈波力発電所、日本地下石油備蓄(株)久慈事業所

参加者：11名

久慈バイオマスエネルギー(株)は、地域の製材所で未使用であったバーク（樹皮）を燃料とする木質バイオマス熱供給事業を平成28年9月に開始し、菌床しいたけを栽培する隣接の大規模園芸団地のハウス60棟に暖房用の温水と菌床殺菌用の蒸気を供給して、久慈市の低炭素政策の一翼を担っています。

平成28年10月に久慈港内「玉の脇漁港」の防波堤を利用して設置した久慈波力発電所は、東北電力と系統連係を行い、日本初の波力発電の商業運転を開始しました。

日本地下石油備蓄(株)久慈事業所は、重要な国家的課題のひとつである石油の安定供給のため、常に安全に確実に国家石油備蓄事業を行う施設です。施設の特徴は地下の岩盤内に空洞を掘り石油を貯蔵する方式で、漏油や拡散の危険性が低く、地震や落雷等の自然災害に強い特徴を持っています。東日本大震災の際も地上部は全壊したものの地下部と岩盤タンク（原油）は無事であり、当備蓄基地の原油は日本の消費の3日分の原油を備蓄しているとのことでした。



第29回北陸技術交流テクノフェア2018

会期：平成30年10月25日(水)～26日(金)

会場：福井県産業会館

福井県内外から176社・団体が出展し、入場者18,294名を数えた「第29回北陸技術交流テクノフェア2018」に医療・介護関連機器の会員企業7社が初出展しました。オリエンタルチエン工業(株)は「金属射出成形部品MIM」、(株)金沢エンジニアリングシステムズは「医療健康機器関連組み込みソフトウェア」、津田駒工業(株)は車いす用スロープ「パラレル」、(株)東振テクニカルは「ペーンポンプ」、中村留精密工業(株)は「人口股関節等」の医療系機械加工サンプル、(株)本螺子製作所は「精密（微細）切削加工部品」、ライオンパワー(株)は血液検査標本作成装置「遠心塗抹装置（とまつくん）」を展示しました。協会ブースへは46名が来訪し、各社の展示品に熱心な問い合わせがありました。

なお、出展企業7社は、11月1日(水)～2日(金)にANAクラウンプラザホテル金沢で開催された「Matching HUB Kanazawa2018」へも出展しました。



METALEX VIETNAM2018 (ベトナム・ホーチミン)

会 期：平成30年10月11日(木)～13日(土)

会 場：Saigon Exhibition & Convention Center

ベトナム・ホーチミンで開催された「METALEX VIETNAM2018」に出展しました。今回は500社（日本から53社）が出展し、来場者は18,848名でした。

協会ブースには会員企業5社（京町産業車輛(株)、澁谷工業(株)、東亜電機工業(株)、(株)徳野製作所、松本機械工業(株)）が出展し、来訪した101社と今後につながる有意義な商談が行われました。



江蘇省連携技術交流・商談会（中国江蘇省蘇州市）

開催日：平成30年11月13日(火)

会 場：蘇州日航ホテル

会員企業の中国での受注開拓を後押しするため、初めて江蘇省の協力をいただき蘇州市で「技術交流・商談会」を開催し、会員企業8社（石川可鍛製鉄(株)、かがつう(株)、金沢機工(株)、京町産業車輛(株)、(株)共和工業所、高松機械工業(株)、(株)タガミ・イーエクス、東亜電機工業(株)）が参加しました。



商談会に先立ち技術交流会を開催し、今回の交流会を支援した江蘇省、蘇州市、南通市、無錫市の幹部が出席のほか、中国ローカル企業、日系企業68社81名が参加し、県内参加企業各社がプレゼンを行い、その後商談会に移りました。事前に面談予約を得ており、時間一杯、活発な商談が行われました。

第2回タイ・AECビジネス促進部会

開催日：平成30年11月23日(金)

参加者：18名

タイ・バンコクにて平成30年2月に発足した「タイ・AECビジネス促進部会」の第2回目の会合を開催し、現地社員の定着化などの課題から、給与・ボーナスの査定基準、福利厚生等について活発な意見交換を行いました。

なお、会議に先立ち、BOI（タイ投資委員会）の赤間隆志氏より「BOI投資奨励政策と日系企業動向」を、IHI ASIA PACIFIC（THAILAND）バンコク所長の堀口浩氏より「IHIのグローバル戦略」と題して講演いただきました。

また、今回初めてタイ人留学生交流事業として、11月24日(土)に石川県産業展示館会議室で石川県内大学のタイ人留学生7名と会員企業のタイ人従業員14名が交流会を行いました。石川県の概況



紹介のほか、自己紹介、企業の仕事内容等について懇談した後、いしかわ総合スポーツセンターでPFUブルーキャッツにタイより新加入したブンビン選手の応援を介しての交流も行いました。

なお、1月20日(日)に第2回タイ人留学生との交流会を開催しますので、タイ人従業員の方々にご案内下さい。

自動化・省力化推進セミナー（第2回・第3回）

近年の人手不足対策として自動化・省力化による生産性向上が急務となっています。自社の生産性向上と新たな産業分野開拓を目的に、9月にロボット利用等による自動化・省力化に係る情報を提供する勉強会をスタートし、キックオフセミナーを行いました。これに続けて2回にわたってセミナーを開催しました。



<第2回> 開催日：平成30年10月22日(月)
会 場：金沢市異業種研修会館
講 師：金谷 智昭氏（㈱オフィス エフエイ・コム）
参加者：50名

自動化システムの構築を担うシステムインテグレータを講師に迎えて、システム設計におけるその役割と実際に携わった導入事例をご紹介します。

<第3回> 開催日：平成30年12月19日(水)
会 場：金沢市ものづくり会館
テーマ/講師：「ロボット活用事例について」
**今里 康宏氏（㈱安川電機ロボット事業部ソリューション技術部
 自動化技術部技術第3課課長補佐）**
「オムロンが考えるロボット活用によるモノづくり革新」
加藤 慎司氏（オムロン㈱ロボット推進プロジェクトリーダー）

参加者：70名

ロボットを製造しているメーカーのご担当者より、デモ実演も交えて各社のロボットの特徴とその活用事例を具体的にご紹介いただきました。

平成30年度 研修スケジュール(予定)のご案内

開催日	テーマ	受講料	定員
1月18日(金)	ムダの発掘と改善	3,000	30
2月15日(金)	ヒューマンエラーとポカミス対策	3,000	30
3月15日(金)	ネクストリーダー研修	3,000	30

*ホームページからお申込みいただけます。 URL:<http://www.tekkokiden.jp>

平成30年度 協会スケジュール(予定)のご案内

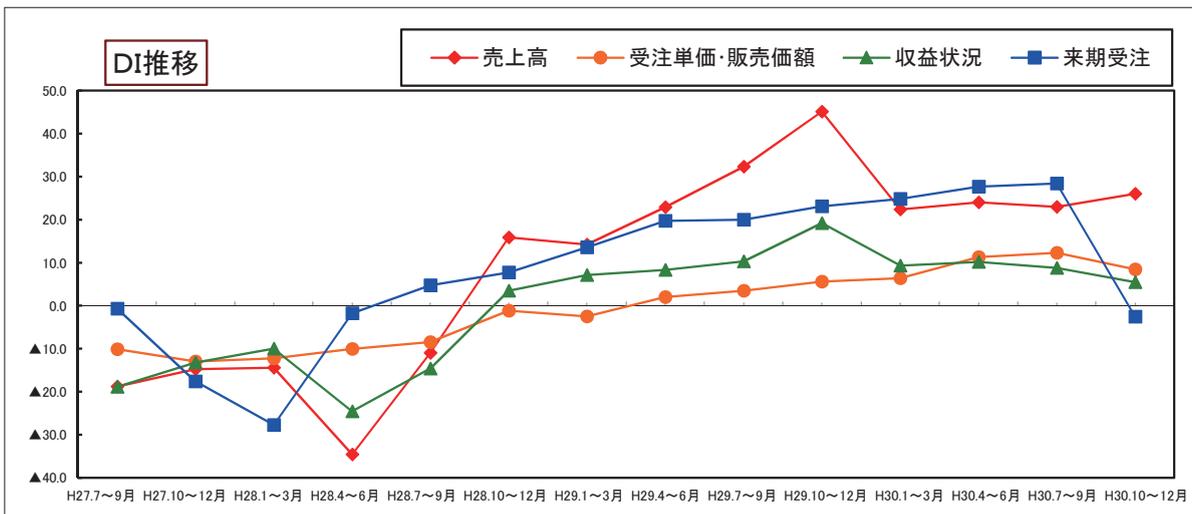
開催日	内 容
会 議	
1月9日(水)	総務・事業企画合同委員会
1月24日(水)	正副会長会議、理事会
1月30日(水)	見本市委員会
2月28日(水)	広報・情報委員会
3月6日(水)	環境委員会
3月15日(金)	新分野進出委員会
3月26日(火)	国際委員会
行 事	
1月18日(金)	石川県知事及び金沢市長へ平成31年度予算要望
1月20日(日)	第2回タイ人留学生との交流会
1月24日(水)	平成31年新年会員懇親会
2月19日(火)	工業系高校優良卒業生表彰式
3月6日(水)	環境講演会
3月15日(金)	自動車セミナー
3月22日(金)	第3回タイ・AECビジネス促進部会（タイ・バンコク）
6月26日(水)	2019年度通常総会

DI調査結果 (平成30年10 - 12月期)

概況総括：『引き続き好調を継続しているが、米中貿易摩擦の影響で先行きに不透明感がみられる』

【調査概要】

1. 今期（平成30年10-12月期）の業況調査DI12項目では、プラスDIは、「売上高」26.1（前回23.0）「受注単価販売価格」8.4（前回12.3）、「収益状況」5.5（前回8.8）、「資金繰り」5.9（前回4.6）「取引条件」3.4（前回3.1）「操業率」33.6（前回38.2）、「受注残」17.7（前回19.0）「生産設備」25.9（前回26.8）の8項目（前回11項目）となった。
2. 現在の経営状況を示す「売上高」から「生産設備」までの9項目では、
 - (1) 景況感を端的に表す「売上高」26.1（前回23.0）と、依然として高水準で横ばいの傾向にあり、忙しい状況が続いている。
一方、「原材料単価」は▲53.0（前回▲61.5）と依然として上昇傾向にある。
 - (2) 現場の繁忙さを表す指標では、「操業率」33.6（前回38.2）、「受注残」17.7（前回19.0）「生産設備」25.9（前回26.8）とやや落ち着きを見せているが、引き続き忙しい状況が続いており、残業等での対応が増えている。人員確保が急務であり、ロボット等による生産設備の自動化・省力化対策が求められる。
3. 来期については、「来期受注」▲2.5（前回28.4）、「来期採算」▲3.4（前回12.7）、「来期資金繰り」▲0.4（前回10.2）とマイナス傾向に転じており、米中貿易摩擦の影響から慎重な見方となっている。
4. 「企業経営上の悩み」については、「人材不足」が48.9（前回51.0）と、依然として人手不足の深刻化が止まらない状況である。
5. 今回の調査では、引き続き順調に推移しており、好調を継続している。建設機械や工作機械等が特に牽引している。
しかしながら、相変わらず人手不足の深刻化が止まらず、現人員の育成を図るとともに、女性や高齢者、外国人実習生等の人手確保やロボット等の自動化・省力化設備の導入などが喫緊の課題となっているほか、働き方改革への対応が必要となってきた。
来期については、米国と中国による貿易摩擦の影響が出てくるとの懸念が強まってきており、不透明感が増してきている。



◆玉田常任理事が旭日単光章を受章

平成30年秋の叙勲受章者に当協会常任理事の玉田善明氏（玉田工業㈱代表取締役社長）が、旭日単光章を受章されました。

玉田氏は、永年に亘りタンク製造に精励し、東日本大震災後には汚染水タンクの供給に尽力されるとともに協会役員として業界発展に貢献されました。

◆山本常任理事が黄綬褒章を受章

平成30年秋の褒章受章者に当協会常任理事の山本洋志氏（アサヒ装設㈱代表取締役社長）が、黄綬褒章を受章されました。

山本氏は、永年に亘り食品加工機械製造に精励されるとともに協会国際委員会委員長として、会員企業の海外展開を支援するなど業界発展に貢献されました。

i 会員情報

平成30年12月14日までにお寄せいただいた内容を掲載しています。

◆代表者の変更

社名	新代表者	社名	新代表者
(株)アイシン鉄工	塚本丈司	(株)フタキ鉄工	二木孝行
(有)赤井鉄工	赤井康樹	(株)丸開鉄工	丸開 悟
(株)石川コンピュータ・センター	山浦伯之	ミドリ安全石川㈱	上田正巳
(株)和泉工業	和泉憲明	(株)ミモト	河原良篤
カネノ精密工業㈱	釣川智啓	(有)安本歯切	安本久志
(株)北日本テクノス	田中由政		
コマツ粟津工場	岡本 望		

◆社名の変更

新社名	旧社名
ティッセンクルップ ローテ エルデ ジャパン(株) (thyssenkrupp rothe erde Japan(株))	日本ロバロ(株)
ヤマザキマザックトレーディング(株)	ヤマザキマザックシステムセールス(株)

◆住所変更

社名	新住所	TEL/FAX
シシクアドクライス(株)	金沢市長土堀 1-16-15	(076) 232-0449/ (076) 224-0449
(株)ビー・ケー・テイ	白山市矢頃島町 1001-2	(076) 256-2850/ (076) 256-2852

◆MEX金沢2019（第57回機械工業見本市金沢）

* MEX金沢2019の出展申込締切が変更になりました。

申込締切：2019年2月8日(金)

会 期：2019年5月16日(木)～18日(土)

また、応募総数150点からキャッチコピーが決定いたしました。

「ものづくり新時代！ 次の未来へつなぐ技」

作者：東 徹也氏（澁谷工業㈱）



i ホームページのご紹介

【協会・MEX金沢ホームページをリニューアルしました】



●協会ホームページ
<http://www.tekkokiden.jp>



●MEX金沢
<http://www.tekkokiden.or.jp/mex>



●金沢港ビジネス情報サイト
<http://www.knz-port.jp/>